



宮前中だより

さいたま市立宮前中学校
学校通信 No. 6
平成29年8月29日 (火)

さいたま市西区宮前町1467-1 Tel 623-7381 e-mail: miyamae-j@saitama-city.ed.jp

「凡事徹底」

校長 中村 淑人

今年の夏は、40年ぶりとなる雨続きの夏で、7月と8月末には猛暑の日が続きましたが、熱中症計の活用や部活動中の給水等により、重度の熱中症を予防することができました。

39日間の夏休みが終了し、今日からいよいよ2学期がスタートしました。この夏休み中、陸上部が県大会で健闘してくれました。また、1、2年生を中心とした新チームで夏季大会や、練習試合に臨んでいました。3年生は高校見学や体験入学等進路に向けた準備など、生徒たちは暑い中で汗を沢山かいて頑張っていました。この汗が、これからの生活にきっと生きてくると思います。

今年の第46回大宮日進七夕祭りでは、宮前中学校の七夕飾りの作品が「北区長賞」を受賞することができました。七夕実行委員の生徒の皆さんの企画力と作品作りへの取組等の頑張った結果が、このようなすばらしい賞に繋がったと思います。ありがとうございました。

さて、2学期は一年で最も長い学期であり、その分学ぶことも多く、心身共に大きく伸びる時期です。9月は、文化体験、文化祭、PTAバザーなど行事も多く予定されています。今しばらく厳しい残暑が続くと思いますが、生徒の皆さんは体調管理をきちんとして、毎日の授業、生徒会活動、部活動に組んでください。

今年度も生活の指針として、「当たり前が当たり前でできる」ことを推進しています。

その中で、「あいさつをする」「協力する」「授業や行事に積極的に取り組む」、そして、「時を守り、場を清め、礼を正す」ということを生徒とともに取り組んでいます。これは、「凡事徹底」ということです。「平凡な事柄を徹底してやる、当たり前のことを人には真似できないほど一生懸命やる…」という意味です。成功するためには、あるいは立派な仕事をするには、わざと普通とは違うことをしてみせ、人の注意を引こうとすることではなく「当たり前のことをいかに当たり前で、徹底してできるかにかかっている」ということです。この「凡事徹底」は、日々の生活を送る上で、さらには人生の指針として、大いに参考になる考え方だと思います。

朝食をしっかりとる、遅刻せずに登校する、交通ルールを守る、あいさつをする、話をしている人の目を見て話を聞く、チャイム着席をする、給食を残さず食べる、掃除をしっかりとやる、ゴミが落ちていたら拾う、部活動に欠かさず参加する、復習をきちんとやる…まだまだ挙げたらきりありません。ひとつひとつは、だれにでも少しの時間、少しの努力でできることばかりですが、毎日徹底して続けていくのは非常に難しいことばかりです。しかし、毎日辛抱強くこれらを着実に積み上げていけば、とても大きな成果となります。当たり前が当たり前で、日々徹底してやりきれているか、このことが全てにつながっていくのだと思います。これは、学校の姿にも当てはまります。昨年度生徒総会で、第2グラウンドや校庭への新たな時計の設置希望がありました。生徒自らが、時を守る事への意識の表れだと思います。PTAと宮友会のご協力により、今年度3ヶ所への時計の設置ができました。「当たり前が当たり前で、しかも徹底してできる学校」を目指すことによって、毎日の教育活動がますます充実し、生き生きとした子どもたちを育てると考えています。

保護者の皆様には、夏休み中も三者面談、部活動の引率や大会の応援、そして大宮日進七夕祭りの巡回や資源回収と暑い中でのご協力ありがとうございました。また、地域の皆様方にも夏休み中も生徒を温かく見守っていただきました。保護者、地域の皆様方のご協力に感謝申し上げます。

保護者の皆様・地域の皆様には、今学期も引き続きご支援ご協力をお願いいたします。

『My School (宮前中) is the Best』